

水源となる河川やダムの水は、地表を流れたり地下を通過する過程で放射性物質を含む様々な成分が自然に溶け込みます。また、動物や人間の活動に由来する不純物が混入することも考えられます。混入する不純物には次のような物質が考えられます；

- バクテリアなどの微生物やウイルス。汚水処理施設、浄化槽、家畜、野生生物などに起因。
- 塩や金属などの無機物。自然由来や都市の雨水、下水、石油精製や農業などに起因。
- 農薬。農業、都市の雨水や家庭での使用などに起因。
- 有機物。工場などで発生する揮発性有機物、石油精製、ガソリンスタンド、都市の下水などに起因。
- 放射性物質。自然に由来する場合や石油・ガス生産や鉱山などに起因。

その他の混入物質

鉛

蛇口や配管などの給水設備に含まれる微量の鉛成分が溶け出すことにより、水道水中の鉛濃度が上昇する場合があります。鉛濃度が高いと、特に妊婦や子供の健康に影響を与える可能性があります。水道水の品質を保つため、概ね6時間以上使用していない蛇口を使用する前に30秒から2分ほど水を流すことで、鉛の摂取量を減らすことができます。横須賀基地の水道水は年に1度ハウジングエリアなどで鉛のサンプリングをしています。EPAのウェブサイトでは水道水中の鉛について詳しく説明しています。

<https://www.epa.gov/your-drinking-water/basic-information-about-lead-drinking-water>

水質検査

横須賀基地では次の表に示された分析項目・頻度で、定期的な水質検査を米国環境保護庁と日本の分析方法に従って実施しています。

| 項目 | 検査頻度 |
|----------------------------------|-------|
| pH、伝導率、濁度、残留塩素、水温、水圧 | 毎時 |
| フッ素、濁度 | 毎日 |
| 消毒副生成物（トリハロメタン(TTHM)、ハロ酢酸(HAA5)） | 年4回 |
| 全大腸菌群 | 毎月 |
| 鉛、銅、無機化学物質、有機化学物質 | 年1回 |
| ポリ塩化ビフェニル、除草剤、農薬 | 3年に1回 |
| 放射性核種 | 4年に1回 |
| アスベスト | 9年に1回 |

2016年に行われた水質検査のうち、横須賀で検出された項目を、3ページの表に記載しました。混入物質の存在は、必ずしも私達の健康を害するという事ではありません。横須賀の水道水はJEGSやCNIC指令などで定められた水質基準に適合しており、安全に飲用することができます。

児童施設鉛検査

児童の鉛暴露をより低く抑えるための対策として、児童施設の水道水中の鉛量を把握するため、2014年に横須賀基地内の全ての学校、託児所(CDC)、ユースセンターで水道水の鉛検査が行われました。2016年には給水設備の交換工事が行われたサリバズ小学校、横須賀ミドルスクール、横須賀CDCで鉛検査が行われ、横須賀CDCで検査された給水栓のうち1検体がスクリーニングレベルの20ppbを超過していました。20ppbを超過した給水栓は直ちに使用中止とされ、鉛量を下げる対策がとられました。対策後の再検査では鉛量が20ppbを下回ったことが確認されました。全ての児童施設で行われた検査結果はスタッフと保護者に公表される予定です。また、児童施設での鉛検査は5年ごとに行われることになっています。

よくある質問と回答

水道水質白書が発行されるということは、水質に異常があるのですか？

海軍では日本を含む全ての基地で、供給された水道水質の概要を示した水道水質白書を毎年発行するように規定しています。水質白書には定期検査で検出された項目が記載されますが、混入物質の検出は自然由来など様々な要因があり、必ずしも水質に異常があるということではありません。

年に一度行われる鉛の検査と児童施設での鉛検査の違いは何ですか？

年に一度行われる鉛の検査は、横須賀基地の水道システム全体を対象とした鉛検査であり、対策が必要であるとされる鉛濃度は15ppbに設定されています。採水した検体のうち10パーセントの検体が15ppbを超過した場合に、浄水方法の再検討やその他の対策をとることなどが義務付けられています。児童施設での鉛検査は児童施設の建物のみを対象としています。鉛混入箇所をピンポイントで特定するため、児童施設の全ての飲料用の給水栓から採水して鉛の検査を

行います。20ppbを超過した場合、超過したそれぞれの給水栓で使用停止などの措置がとられます。

水道水中の放射性物質は検査していますか？

横須賀基地では4年に一度定められた放射性物質の検査をメインベース及び池子住宅地区で行っています。FMC、箱崎、長井、根岸、鶴見、浦郷の各基地では放射性物質の検査は行われていませんが、水道水を供給している各水道局では毎月放射性物質の検査をしています。

横須賀 — 2016年に水道水から検出された混入物質

| 水質基準項目 | 単位 | 検出値 | | 基準値 (MCL/ MRDL*) | 目標値 (MCLG/ MRDLG) | 検査合否 | 可能性のある混入源 |
|--------------------|------|--------|-----------------------------|------------------------|-------------------------|------|---------------------|
| | | 最小値 | 最大値 | | | | |
| 無機化学物質 | | | | | | | |
| バリウム | mg/L | 0.0026 | 0.0028 | 2.0 | 2.0 | 合格 | 掘削工事、製鉄所、自然由来 |
| フッ素 | mg/L | ND | 0.83 | 4.0 | 4.0 | 合格 | 自然由来、水道添加物、肥料、アルミ工場 |
| 硝酸性窒素 | mg/L | 0.8 | 0.8 | 10 | 10 | 合格 | 肥料、浄化槽、下水、自然由来 |
| ナトリウム | mg/L | 7.5 | 8.7 | 200 | - | 合格 | 自然由来 |
| 全窒素 | mg/L | 0.8 | 0.8 | 10 | - | 合格 | 肥料、浄化槽、下水、自然由来 |
| 消毒剤及び消毒副生成物 | | | | | | | |
| 残留塩素 | mg/L | 0.2 | 0.6 | 4.0* | 4.0 | 合格 | 消毒剤 |
| ハロ酢酸5種 | mg/L | 0.0039 | 0.024 (IDSE** 0.2647) | 0.06 | - | 合格 | 水道水消毒の副生成物 |
| 総トリハロメタン | mg/L | 0.0087 | 0.038 | 0.08 | - | 合格 | 水道水消毒の副生成物 |
| 細菌 | | | | | | | |
| 大腸菌群 | 検出数 | 1 | - | 1以下 | 0 | 合格 | 自然由来 |

| 水質基準項目 | AL超過数 | 90パーセンタイル値 | AL (mg/L) | 検査合否 | 可能性のある混入源 |
|--------|-------|------------|-----------|------|-------------|
| 銅 | 0 | 0.02 | 1.3 | 合格 | 屋内水道配管、自然由来 |
| 鉛 | 0 | 0.001 | 0.015 | 合格 | 屋内水道配管、自然由来 |

注記

*残留塩素にはMRDL（最大残留消毒剤濃度）を適用、その他はMCL（最大許容混入値）の基準値を適用します。

**IDSE＝初期配水システム評価。配水システム全体の中で、総トリハロメタンとハロ酢酸5種の濃度が最も高くなる地点を特定し定期モニタリング地点を確定するための調査。表にはIDSE調査で検出された値を併記していますが、この調査結果は検査合否には適用されません。

略語と意味：

AL： アクションレベル値。超過した場合、定められた追加処置をしなければならない濃度。

MCL： 最大許容混入値。飲料水として許容できる該当物質混入量の最大値。

MCLG： 最大許容混入目標値。水道水中の混入物による健康リスクがなくなるとされる目標値。

mg/L： 1リットル中に含まれる混入物質の量（ミリグラム）。

MRDL： 最大残留消毒剤濃度。消費者の蛇口で測定される水処理のための消毒剤の濃度で、健康に悪影響を与える可能性がある濃度を超過してはならない。

MRDLG: 最大残留消毒剤濃度目標。定められた目標値を下回っていれば健康に影響がないとされる水道消毒剤の濃度。但し、消毒剤の効果を考慮した数字ではない。

ND: 不検出。

90パーセンタイル値: 採取された水道サンプル全体の90%のサンプルが示す値。もし、90パーセンタイル値がAL値を超過した場合、横須賀基地は定められた適切な対応をとることが定められています。

問い合わせ先

基地水道品質管理委員会 (IWQB): 横須賀基地の全ての施設使用者に、信頼できる水道水を提供するために設立された横須賀基地司令官を委員長とする委員会。

| | |
|--------------------------|----------|
| 司令官 | 243-7300 |
| チーフ・スタッフ・オフィサー | 243-7301 |
| パブリック・ワークス・オフィサー | 243-7311 |
| 海軍病院 | 243-2616 |
| 広報官 | 243-7589 |
| パブリック・ワークス・プロダクション・オフィサー | 243-9119 |
| 環境課ディレクター | 243-6592 |

水道水質白書または横須賀基地水道水全般の質問については横須賀基地広報部までご連絡ください。

DSN: 243-7589 Email: Daniel.Taylor@fe.navy.mil



2016 年水道水質白書

池子住宅地区

横須賀基地司令部



水道水質白書は海軍施設部隊司令部(CNIC)指針書 2013 年 10 月 15 日 N4/13U84441 の規定により毎年発行されるレポートです。このレポートには 2016 年の水質検査結果が反映されています

水 水道水質白書は水道水の水源、浄水方法、可能性のある水道水汚染源、水質検査で検出された項目などを説明する毎年発行されるレポートです。このレポートでは 2016 年に池子住宅地区で供給された水道水について定められた情報を提供しています。横須賀基地の水道水は安全に飲用できます。横須賀基地では常に安心して安全な水を供給することを目標としています。

水源

池子の水道水は神奈川県営水道から供給されています。相模川から取水された水は、アメリカでも一般的な急速ろ過方式により神奈川県営水道が浄水と塩素による消毒をしています。横須賀基地では、水道局により公表される水質データを定期的にチェックしています。



配水施設

水道局より送水された水道水は、横須賀基地施設管理部が各施設へ配水しています。池子では購入した水をいったんタンクに貯水し、住宅に配水される水にフッ素を添加しています。

水道関連規則の遵守

海軍では海軍施設部隊司令部 (CNIC) 指令 5090.1 により、日本を含む全ての海外に駐留する海軍基地で米国安全飲料水法に基づく第 1 種飲料水規則等の基準に遵守することが義務付けられています。また、横須賀基地は在日米軍に適用される日本環境基準 (JEGS) の水道に関する各規則にも遵守する義務があります。JEGS では日本で活動する米軍が自然環境や従業員の健康を守るため、水道水質・大気・廃棄物などさまざまな環境分野で遵守すべき基準を定めています。在日米海軍に適用される水道水の水質基準は、米国と日本両方の飲料水規則をもとに定められていて、定期的な水質検査をすることにより水道水の安全性を確認しています。

健康に関する重要なお知らせ

化学療法で治療中のがん患者、移植手術患者、エイズ患者、一部の高齢者や乳児など免疫力の低下している人は水道水中の混入物質に、より敏感に反応することがあり特に感染症を発症する可能性が他の人たちより高くなる場合があります。当てはまる方は基地の水道水の利用について医師などに相談することをお勧めします。米国環境庁と疾病対策センターはクリプトスポリジウムなどの微生物による感染症対策のガイドラインなどを提供するホットラインを設けています。電話：1-800-426-4791

混入する可能性がある物質

水道水やペットボトルなどの飲料水には水以外の不純物も含まれています。飲料水に一定の不純物が混入しているということは、必ずしも私達の健康を害するという事ではありません。混入物質やその健康への影響の詳細は、米国環境保護庁 (EPA) のホットライン 1-800-426-4791 や、EPA のウェブサイトで確認できます。

<https://www.epa.gov/dwstandardsregulations>

水源となる河川やダムの水は、地表を流れたり地下を通過する過程で放射性物質を含む様々な成分が自然に溶け込みます。また、動物や人間の活動に由来する不純物が混入することも考えられます。混入する不純物には次のような物質が考えられます；

- バクテリアなどの微生物やウイルス。汚水処理施設、浄化槽、家畜、野生生物などに起因。
- 塩や金属などの無機物。自然由来や都市の雨水、下水、石油精製や農業などに起因。
- 農薬。農業、都市の雨水や家庭での使用などに起因。
- 有機物。工場などで発生する揮発性有機物、石油精製、ガソリンスタンド、都市の下水などに起因。
- 放射性物質。自然に由来する場合や石油・ガス生産や鉱山などに起因。

その他の混入物質

鉛

蛇口や配管などの水道設備に含まれる微量の鉛成分が溶け出すことにより、水道水中の鉛濃度が上昇する場合があります。鉛濃度が高いと、特に妊婦や子供の健康に影響を与える可能性があります。水道水の品質を保つため、概ね6時間以上使用していない蛇口を使用する前に30秒から2分ほど水を流すことで、鉛の摂取量を減らすことができます。横須賀基地の水道水は年に1度ハウジングエリアなどで鉛のサンプリングをしています。EPAのウェブサイトでは水道水中の鉛について詳しく説明しています。

<https://www.epa.gov/your-drinking-water/basic-information-about-lead-drinking-water>

水質検査

横須賀基地では次の表に示された分析項目・頻度で、定期的な水質検査を米国環境保護庁と日本の分析方法に従って実施しています。

| 項目 | 検査頻度 |
|----------------------------------|-------|
| pH、伝導率、濁度、残留塩素、水温、水圧 | 毎時 |
| フッ素、濁度 | 毎日 |
| 消毒副生成物（トリハロメタン(TTHM)、ハロ酢酸(HAA5)） | 年4回 |
| 全大腸菌群 | 毎月 |
| 鉛、銅、無機化学物質、有機化学物質 | 年1回 |
| ポリ塩化ビフェニル、除草剤、農薬 | 3年に1回 |
| 放射性核種 | 4年に1回 |
| アスベスト | 9年に1回 |

2016年に行われた水質検査のうち、池子で検出された項目を、3ページの表に記載しました。混入物質の存在は、必ずしも私達の健康を害するという事ではありません。池子の水道水はJEGSやCNIC指令などで定められた水質基準に適合しており、安全に飲用することができます。

よくある質問と回答

水道水質白書が発行されるということは、水質に異常があるのですか？

海軍では日本を含む全ての基地で、供給された水道水質の概要を示した水道水質白書を毎年発行するように規定しています。水質白書には定期検査で検出された項目が記載されますが、混入物質の検出は自然由来など様々な要因があり、水質に異常があるということではありません

水道水中の放射性物質は検査していますか？

横須賀基地では4年に一度定められた放射性物質の検査をメインベース及び池子住宅地区で行っています。FMC、箱崎、長井、根岸、鶴見、浦郷の各基地では放射性物質の検査は行われていませんが、水道水を供給している各水道局では毎月放射性物質の検査をしています。

池子 - 2016年に水道水から検出された混入物質

| 水質基準項目 | 単位 | 検出値 | | 基準値 (MCL/ MRDL*) | 目標値 (MCLG/ MRDLG) | 検査合否 | 可能性のある混入源 |
|--------------------|------|--------|---------|------------------------|-------------------------|------|---------------------|
| | | 最小値 | 最大値 | | | | |
| 無機化学物質 | | | | | | | |
| バリウム | mg/L | - | 0.0029 | 2.0 | 2.0 | 合格 | 掘削工事、製鉄所、自然由来 |
| フッ素 | mg/L | - | 0.81 | 4.0 | 4.0 | 合格 | 自然由来、水道添加物、肥料、アルミ工場 |
| 硝酸性窒素 | mg/L | - | 0.8 | 10 | 10 | 合格 | 肥料、浄化槽、下水、自然由来 |
| ナトリウム | mg/L | - | 8.7 | 200 | - | 合格 | 自然由来 |
| 全窒素 | mg/L | - | 0.8 | 10 | - | 合格 | 肥料、浄化槽、下水、自然由来 |
| 有機化学物質 | | | | | | | |
| トルエン | mg/L | - | 0.00053 | 1.0 | 1.0 | 合格 | 石油関連工場 |
| 消毒剤及び消毒副生成物 | | | | | | | |
| 残留塩素 | mg/L | 0.5 | 0.6 | 4.0 | 4.0 | 合格 | 消毒剤 |
| ハロ酢酸5種 | mg/L | 0.0066 | 0.0249 | 0.06 | - | 合格 | 水道水消毒の副生成物 |
| 総トリハロメタン | mg/L | 0.009 | 0.0353 | 0.08 | - | 合格 | 水道水消毒の副生成物 |

| 水質基準項目 | AL 超過数 | 90パーセンタイル値 | AL (mg/L) | 検査合否 | 可能性のある混入源 |
|--------|--------|------------|-----------|------|-------------|
| 銅 | 0 | 0.018 | 1.3 | 合格 | 屋内水道配管、自然由来 |
| 鉛 | 0 | 0.001 | 0.015 | 合格 | 屋内水道配管、自然由来 |

注記

*残留塩素にはMRDL（最大残留消毒剤濃度）を適用、その他はMCL（最大許容混入値）の基準値を適用します。

略語と意味：

AL： アクションレベル値。超過した場合、定められた追加処置をしなければならない濃度。

MCL： 最大許容混入値。飲料水として許容できる該当物質混入量の最大値。

MCLG： 最大許容混入目標値。水道水中の混入物による健康リスクがなくなるとされる目標値。

mg/L： 1リットル中に含まれる混入物質の量（ミリグラム）

MRDL： 最大残留消毒剤濃度。消費者の蛇口で測定される水処理のための消毒剤の濃度で、健康に悪影響を与える可能性がある濃度を超過してはならない。

MRDLG： 最大残留消毒剤濃度目標。定められた目標値を下回っていれば健康に影響がないとされる水道消毒剤の濃度。但し、消毒剤の効果を考慮した数字ではない。

ND： 不検出。

90パーセンタイル値：採取された水道サンプル全体の90%のサンプルが示す値。もし、90パーセンタイル値がAL値を超過した場合、横須賀基地は定められた適切な対応をとることが定められています。

問い合わせ先

基地水道品質管理委員会 (IWQB)：横須賀基地の全ての施設使用者に、信頼できる水道水を提供するために設立された横須賀基地司令官を委員長とする委員会。

| | |
|--------------------------|----------|
| 司令官 | 243-7300 |
| チーフ・スタッフ・オフィサー | 243-7301 |
| パブリック・ワークス・オフィサー | 243-7311 |
| 海軍病院 | 243-2616 |
| 広報官 | 243-7589 |
| パブリック・ワークス・プロダクション・オフィサー | 243-9119 |
| 環境課ディレクター | 243-6592 |

水道水質白書または横須賀基地水道水全般の質問については横須賀基地広報部までご連絡ください。

DSN: 243-7589 Email: Daniel.Taylor@fe.navy.mil



2016 年水道水質白書

根岸住宅地区

横須賀基地司令部



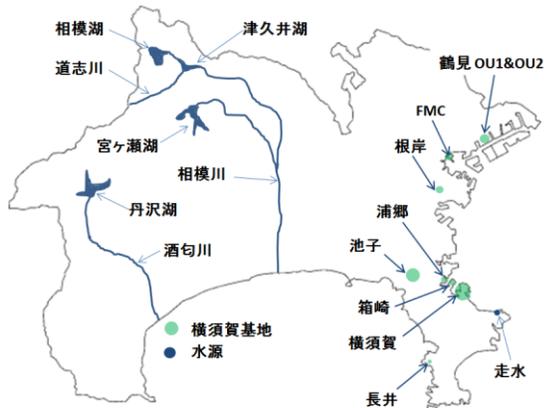
水道水質白書は海軍施設部隊司令部(CNIC)指針書 2013 年 10 月 15 日 N4/13U84441 の規定により毎年発行されるレポートです。このレポートには 2016 年の水質検査結果が反映されています

水

水道水質白書は水道水の水源、浄水方法、可能性のある水道水汚染源、水質検査で検出された項目などを説明する毎年発行されるレポートです。このレポートでは 2016 年に根岸住宅地区で供給された水道水について定められた情報を提供しています。横須賀基地の水道水は安全に飲用できます。横須賀基地では常に安心して安全な水を供給することを目標としています。

水源

根岸の水道水は横浜市水道局から供給されています。道志川と相模湖から取水された水は、アメリカでも一般的な急速ろ過方式により横浜市水道局が浄水と塩素による消毒をしています。横須賀基地では、水道局により公表される水質データを定期的にチェックしています。



配水施設

水道局より送水された飲料水は、横須賀基地施設管理部が各施設へ配水しています。根岸ではフッ素添加などの処理は行わず、購入した水を直接配水しています。

水道関連規則の遵守

海軍では海軍施設部隊司令部 (CNIC) 指令 5090.1 により、日本を含む全ての海外に駐留する海軍基地で米国安全飲料水法に基づく第 1 種飲料水規則等の基準に遵守することが義務付けられています。また、横須賀基地は在日米軍に適用される日本環境基準 (JEGS) の水道に関する各規則にも遵守する義務があります。JEGS では日本で活動する米軍が自然環境や従業員の健康を守るため、水道水質・大気・廃棄物などさまざまな環境分野で遵守すべき基準を定めています。在日米海軍に適用される水道水の水質基準は、米国と日本両方の飲料水規則をもとに定められていて、定期的な水質検査をすることにより水道水の安全性を確認しています。

健康に関する重要なお知らせ

化学療法で治療中のがん患者、移植手術患者、エイズ患者、一部の高齢者や乳児など免疫力の低下している人は水道水中の混入物質に、より敏感に反応することがあり特に感染症を発症する可能性が他の人たちより高くなる場合があります。当てはまる方は基地の水道水の利用について医師などに相談することをお勧めします。米国環境庁と疾病対策センターはクリプトスポリジウムなどの微生物による感染症対策のガイドラインなどを提供するホットラインを設けています。電話：1-800-426-4791

混入する可能性がある物質

水道水やペットボトルなどの飲料水には水以外の不純物も含まれています。飲料水に一定の不純物が混入しているということは、必ずしも私達の健康を害するという事ではありません。混入物質やその健康への影響の詳細は、米国環境保護庁 (EPA) のホットライン 1-800-426-4791 や、EPA のウェブサイトで確認できます。

<https://www.epa.gov/dwstandardsregulations>

水源となる河川やダムの水は、地表を流れたり地下を通過する過程で放射性物質を含む様々な成分が自然に溶け込みます。また、動物や人間の活動に由来する不純物が混入することも考えられます。混入する不純物には次のような物質が考えられます；

- バクテリアなどの微生物やウイルス。汚水処理施設、浄化槽、家畜、野生生物などに起因。
- 塩や金属などの無機物。自然由来や都市の雨水、下水、石油精製や農業などに起因。
- 農薬。農業、都市の雨水や家庭での使用などに起因。
- 有機物。工場などで発生する揮発性有機物、石油精製、ガソリンスタンド、都市の下水などに起因。
- 放射性物質。自然に由来する場合や石油・ガス生産や鉱山などに起因。

その他の混入物質

鉛

蛇口や配管などの水道設備に含まれる微量の鉛成分が溶け出すことにより、水道水中の鉛濃度が上昇する場合があります。鉛濃度が高いと、特に妊婦や子供の健康に影響を与える可能性があります。水道水の品質を保つため、概ね6時間以上使用していない蛇口を使用する前に30秒から2分ほど水を流すことで、鉛の摂取量を減らすことができます。横須賀基地の水道水は年に1度ハウジングエリアなどで鉛のサンプリングをしています。EPAのウェブサイトでは水道水中の鉛について詳しく説明しています。

<https://www.epa.gov/your-drinking-water/basic-information-about-lead-drinking-water>

水質検査

横須賀基地では次の表に示された分析項目・頻度で、定期的な水質検査を米国環境保護庁と日本の分析方法に従って実施しています。

| 項目 | 検査頻度 |
|----------------------------------|-------|
| 消毒副生成物（トリハロメタン(TTHM)、ハロ酢酸(HAA5)) | 年1回 |
| 全大腸菌群 | 毎月 |
| 鉛、銅、無機化学物質、有機化学物質 | 年1回 |
| ポリ塩化ビフェニル、除草剤、農薬 | 3年に1回 |
| アスベスト | 9年に1回 |

2016年に行われた水質検査のうち、根岸で検出された項目を、3ページの表に記載しました。混入物質の存在は、必ずしも私達の健康を害するという事ではありません。根岸の水道水はJEGSやCNIC指令などで定められた水質基準に適合しており、安全に飲用することができます。

よくある質問と回答

水道水質白書が発行されるということは、水質に異常があるのですか？

海軍では日本を含む全ての基地で、供給された水道水質の概要を示した水道水質白書を毎年発行するように規定しています。水質白書には定期検査で検出された項目が記載されますが、混入物質の検出は自然由来など様々な要因があり、水質に異常があるということではありません。

水道水中の放射性物質は検査していますか？

横須賀基地では4年に一度定められた放射性物質の検査をメインベース及び池子住宅地区で行っています。FMC、箱崎、長井、根岸、鶴見、浦郷の各基地では放射性物質の検査は行われていませんが、水道水を供給している各水道局では毎月放射性物質の検査をしています。

根岸 - 2016年に水道水から検出された混入物質

| 水質基準項目 | 単位 | 検出値 | | 基準値 (MCL/ MRDL*) | 目標値 (MCLG/ MRDLG) | 検査合否 | 可能性のある混入源 |
|--------------------|------|--------|--------|------------------------|-------------------------|------|---------------------|
| | | 最小値 | 最大値 | | | | |
| 無機化学物質 | | | | | | | |
| バリウム | mg/L | - | 0.0048 | 2.0 | 2.0 | 合格 | 掘削工事、製鉄所、自然由来 |
| フッ素 | mg/L | - | 0.098 | 4.0 | 4.0 | 合格 | 自然由来、水道添加物、肥料、アルミ工場 |
| 硝酸性窒素 | mg/L | - | 1.1 | 10 | 10 | 合格 | 肥料、浄化槽、下水、自然由来 |
| ナトリウム | mg/L | - | 7.3 | 200 | - | 合格 | 自然由来 |
| 全窒素 | mg/L | - | 1.1 | 10 | - | 合格 | 肥料、浄化槽、下水、自然由来 |
| 消毒剤及び消毒副生成物 | | | | | | | |
| 残留塩素 | mg/L | 0.1 | 0.6 | 4.0* | 4.0 | 合格 | 消毒剤 |
| ハロ酢酸5種 | mg/L | 0.0061 | 0.016 | 0.06 | - | 合格 | 水道水消毒の副生成物 |
| 総トリハロメタン | mg/L | 0.013 | 0.042 | 0.08 | - | 合格 | 水道水消毒の副生成物 |

| 水質基準項目 | AL 超過数 | 90パーセンタイル値 | AL (mg/L) | 検査合否 | 可能性のある混入源 |
|--------|--------|------------|-----------|------|-------------|
| 銅 | 0 | 0.0042 | 1.3 | 合格 | 屋内水道配管、自然由来 |

注記

*残留塩素にはMRDL（最大残留消毒剤濃度）を適用、その他はMCL（最大許容混入値）の基準値を適用します。

略語と意味：

AL： アクションレベル値。超過した場合、定められた追加処置をしなければならない濃度。

MCL： 最大許容混入値。飲料水として許容できる該当物質混入量の最大値。

MCLG： 最大許容混入目標値。水道水中の混入物による健康リスクがなくなるとされる目標値。

mg/L： 1リットル中に含まれる混入物質の量（ミリグラム）

MRDL： 最大残留消毒剤濃度。消費者の蛇口で測定される水処理のための消毒剤の濃度で、健康に悪影響を与える可能性がある濃度を超過してはならない。

MRDLG： 最大残留消毒剤濃度目標。定められた目標値を下回っていれば健康に影響がないとされる水道消毒剤の濃度。但し、消毒剤の効果を考慮した数字ではない。

ND： 不検出。

90パーセンタイル値：採取された水道サンプル全体の90%のサンプルが示す値。もし、90パーセンタイル値がAL値を超過した場合、横須賀基地は定められた適切な対応をとることが定められています。

問い合わせ先

基地水道品質管理委員会 (IWQB)：横須賀基地の全ての施設使用者に、信頼できる水道水を提供するために設立された横須賀基地司令官を委員長とする委員会。

| | |
|--------------------------|----------|
| 司令官 | 243-7300 |
| チーフ・スタッフ・オフィサー | 243-7301 |
| パブリック・ワークス・オフィサー | 243-7311 |
| 海軍病院 | 243-2616 |
| 広報官 | 243-7589 |
| パブリック・ワークス・プロダクション・オフィサー | 243-9119 |
| 環境課ディレクター | 243-6592 |

水道水質白書または横須賀基地水道水全般の質問については横須賀基地広報部までご連絡ください。

DSN: 243-7589 Email: Daniel.Taylor@fe.navy.mil



2016 年水道水質白書

箱崎(吾妻)燃料ターミナル

横須賀基地司令部

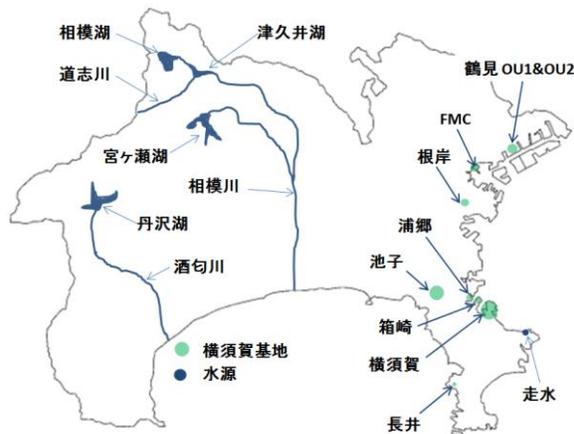


水道水質白書は海軍施設部隊司令部(CNIC)指針書 2013 年 10 月 15 日 N4/13U84441 の規定により毎年発行されるレポートです。このレポートには 2016 年の水質検査結果が反映されています

水 道水質白書は水道水の水源、浄水方法、可能性のある水道水汚染源、水質検査で検出された項目などを説明する毎年発行されるレポートです。このレポートでは 2016 年に箱崎(吾妻)燃料ターミナルで供給された水道水について定められた情報を提供しています。横須賀基地の水道水は安全に飲用できます。横須賀基地では常に安心して安全な水を供給することを目標としています。

水源

箱崎の水道水は横須賀市上下水道局から供給されています。相模川と酒匂川から取水された水は、アメリカでも一般的な急速ろ過方式により横須賀市上下水道局が浄水と塩素による消毒をしています。横須賀基地では、水道局により公表される水質データを定期的にチェックしてい



ます。

配水施設

水道局より送水された水道水は、横須賀基地施設管理部が各施設へ配水しています。箱崎ではフッ素添加などの処理は行わず、購入した水を直接配水しています。

水道関連規則の遵守

海軍では海軍施設部隊司令部(CNIC)指令 5090.1 により、日本を含む全ての海外に駐留する海軍基地で米国安全飲料水法に基づく第 1 種飲料水規則等の基準に遵守することが義務付けられています。また、横須賀基地は在日米軍に適用される日本環境基準(JEGS)の水道に関する各規則にも遵守する義務があります。JEGS では日本で活動する米軍が自然環境や従業員の健康を守るため、水道水質・大気・廃棄物などさまざまな環境分野で遵守すべき基準を定めています。在日米海軍に適用される水道水の水質基準は、米国と日本両方の飲料水規則をもとに定められていて、定期的な水質検査をすることにより水道水の安全性を確認しています。

健康に関する重要なお知らせ

化学療法で治療中のがん患者、移植手術患者、エイズ患者、一部の高齢者や乳児など免疫力の低下している人は水道水中の混入物質に、より敏感に反応することがあり特に感染症を発症する可能性が他の人たちより高くなる場合があります。当てはまる方は基地の水道水の利用について医師などに相談することをお勧めします。米国環境庁と疾病対策センターはクリプトスポリジウムなどの微生物による感染症対策のガイドラインなどを提供するホットラインを設けています。電話：1-800-426-4791

混入する可能性がある物質

水道水やペットボトルなどの飲料水には水以外の不純物も含まれています。飲料水に一定の不純物が混入しているということは、必ずしも私達の健康を害するという事ではありません。混入物質やその健康への影響の詳細は、米国環境保護庁(EPA)のホットライン 1-800-426-4791 や、EPA のウェブサイトで確認できます。

<https://www.epa.gov/dwstandardsregulations>

水源となる河川やダムの水は、地表を流れたり地下を通過する過程で放射性物質を含む様々な成分が自然に溶け込みます。また、動物や人間の活動に由来する不純物が混入することも考えられます。混入する不純物には次のような物質が考えられます；

- バクテリアなどの微生物やウイルス。汚水処理施設、浄化槽、家畜、野生生物などに起因。
- 塩や金属などの無機物。自然由来や都市の雨水、下水、石油精製や農業などに起因。
- 農薬。農業、都市の雨水や家庭での使用などに起因。
- 有機物。工場などで発生する揮発性有機物、石油精製、ガソリンスタンド、都市の下水などに起因。
- 放射性物質。自然に由来する場合や石油・ガス生産や鉱山などに起因。

その他の混入物質

鉛

蛇口や配管などの水道設備に含まれる微量の鉛成分が溶け出すことにより、水道水中の鉛濃度が上昇する場合があります。鉛濃度が高いと、特に妊婦や子供の健康に影響を与える可能性があります。水道水の品質を保つため、概ね6時間以上使用していない蛇口を使用する前に30秒から2分ほど水を流すことで、鉛の摂取量を減らすことができます。横須賀基地の水道水は年に1度ハウジングエリアなどで鉛のサンプリングをしています。EPAのウェブサイトでは水道水中の鉛について詳しく説明しています。

<https://www.epa.gov/your-drinking-water/basic-information-about-lead-drinking-water>

水質検査

横須賀基地では次の表に示された分析項目・頻度で、定期的な水質検査を米国環境保護庁と日本の分析方法に従って実施しています。

| 項目 | 検査頻度 |
|----------------------------------|-------|
| 消毒副生成物（トリハロメタン(TTHM)、ハロ酢酸(HAA5)） | 年1回 |
| 全大腸菌群 | 毎月 |
| 鉛、銅、無機化学物質、有機化学物質 | 年1回 |
| ポリ塩化ビフェニル、除草剤、農薬 | 3年に1回 |
| アスベスト | 9年に1回 |

2016年に行われた水質検査のうち、箱崎で検出された項目を、3ページの表に記載しました。混入物質の存在は、必ずしも私達の健康を害するという事ではありません。箱崎の水道水はJEGSやCNIC指令などで定められた水質基準に適合しており、安全に飲用することができます。

よくある質問と回答

水道水質白書が発行されるということは、水質に異常があるのですか？

海軍では日本を含む全ての基地で、供給された水道水質の概要を示した水道水質白書を毎年発行するように規定しています。水質白書には定期検査で検出された項目が記載されますが、混入物質の検出は自然由来など様々な要因があり、水質に異常があるということではありません。

水道水中の放射性物質は検査していますか？

横須賀基地では4年に一度定められた放射性物質の検査をメインベース及び池子住宅地区で行っています。FMC、箱崎、長井、根岸、鶴見、浦郷の各基地では放射性物質の検査は行われていませんが、水道水を供給している各水道局では毎月放射性物質の検査をしています。

箱崎 - 2016年に水道水から検出された混入物質

| 水質基準項目 | 単位 | 検出値 | | 基準値 (MCL/ MRDL*) | 目標値 (MCLG/ MRDLG) | 検査合格 | 可能性のある混入源 |
|--------------------|------|--------|--------|------------------------|-------------------------|------|---------------------|
| | | 最小値 | 最大値 | | | | |
| 無機化学物質 | | | | | | | |
| バリウム | mg/L | - | 0.0022 | 2.0 | 2.0 | 合格 | 掘削工事、製鉄所、自然由来 |
| フッ素 | mg/L | - | 0.075 | 4.0 | 4.0 | 合格 | 自然由来、水道添加物、肥料、アルミ工場 |
| 硝酸性窒素 | mg/L | - | 1.1 | 10 | 10 | 合格 | 肥料、浄化槽、下水、自然由来 |
| ナトリウム | mg/L | - | 7.3 | 200 | - | 合格 | 自然由来 |
| 全窒素 | mg/L | - | 1.1 | 10 | - | 合格 | 肥料、浄化槽、下水、自然由来 |
| 消毒剤及び消毒副生成物 | | | | | | | |
| 残留塩素 | mg/L | 0.3 | 0.6 | 4.0 | 4.0 | 合格 | 消毒剤 |
| ハロ酢酸5種 | mg/L | 0.017 | 0.02 | 0.06 | - | 合格 | 水道水消毒の副生成物 |
| 総トリハロメタン | mg/L | 0.0329 | 0.043 | 0.08 | - | 合格 | 水道水消毒の副生成物 |

| 水質基準項目 | AL 超過数 | 90パーセンタイル値 | AL (mg/L) | 検査合格 | 可能性のある混入源 |
|--------|--------|------------|-----------|------|-------------|
| 銅 | 0 | 0.059 | 1.3 | 合格 | 屋内水道配管、自然由来 |
| 鉛 | 0 | 0.002 | 0.015 | 合格 | 屋内水道配管、自然由来 |

注記

*残留塩素にはMRDL（最大残留消毒剤濃度）を適用、その他はMCL（最大許容混入値）の基準値を適用します。

略語と意味：

- AL： アクションレベル値。超過した場合、定められた追加処置をしなければならない濃度。
- MCL： 最大許容混入値。飲料水として許容できる該当物質混入量の最大値。
- MCLG： 最大許容混入目標値。水道水中の混入物による健康リスクがなくなるとされる目標値。
- mg/L： 1リットル中に含まれる混入物質の量（ミリグラム）
- MRDL： 最大残留消毒剤濃度。消費者の蛇口で測定される水処理のための消毒剤の濃度で、健康に悪影響を与える可能性がある濃度を超過してはならない。
- MRDLG： 最大残留消毒剤濃度目標。定められた目標値を下回っていれば健康に影響がないとされる水道消毒剤の濃度。但し、消毒剤の効果を考慮した数字ではない。
- ND： 不検出。
- 90パーセンタイル値：採取された水道サンプル全体の90%のサンプルが示す値。もし、90パーセンタイル値がAL値を超過した場合、横須賀基地は定められた適切な対応をとることが定められています。

問い合わせ先

基地水道品質管理委員会 (IWQB)：横須賀基地の全ての施設使用者に、信頼できる水道水を提供するために設立された横須賀基地司令官を委員長とする委員会。

| | |
|--------------------------|----------|
| 司令官 | 243-7300 |
| チーフ・スタッフ・オフィサー | 243-7301 |
| パブリック・ワークス・オフィサー | 243-7311 |
| 海軍病院 | 243-2616 |
| 広報官 | 243-7589 |
| パブリック・ワークス・プロダクション・オフィサー | 243-9119 |
| 環境課ディレクター | 243-6592 |

水道水質白書または横須賀基地水道水全般の質問については横須賀基地広報部までご連絡ください。

DSN: 243-7589 Email: Daniel.Taylor@fe.navy.mil



2016 年水道水質白書 鶴見 OU-1&2



横須賀基地司令部

水道水質白書は海軍施設部隊司令部(CNIC)指針書 2013 年 10 月 15 日 N4/13U84441 の規定により毎年発行されるレポートです。このレポートには 2016 年の水質検査結果が反映されています。

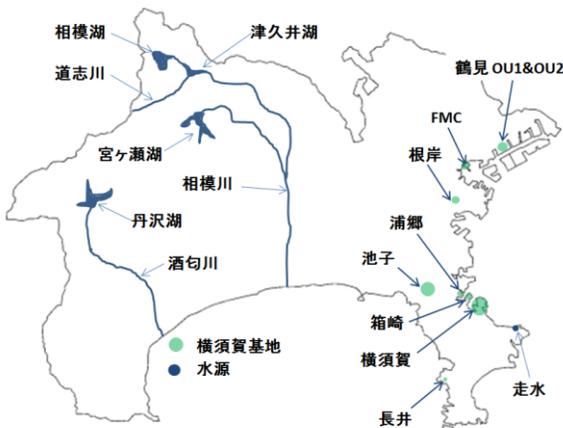
水

水道水質白書は水道水の水源、浄水方法、可能性のある水道水汚染源、水質検査で検出された項目などを説明する毎年発行されるレポート

です。このレポートでは 2016 年に鶴見 OU-1&2 で供給された水道水について定められた情報を提供しています。横須賀基地の水道水は安全に飲用できます。横須賀基地では常に安心して安全な水を供給することを目標としています。

水源

鶴見の水道水は横浜市水道局から供給されています。相模川から取水された水は、アメリカでも一般的な急速ろ過方式により横浜市水道局が浄水と塩素による消毒をしています。横須賀基地では、水道局により公表される水質データを定期的にチェックしています。



配水施設

水道局より送水された飲料水は、横須賀基地施設管理部が各施設へ配水しています。鶴見ではフッ素添加などの処理は行わず、購入した水を直接配水しています。

水道関連規則の遵守

海軍では海軍施設部隊司令部 (CNIC) 指令 5090.1 により、日本を含む全ての海外に駐留する海軍基地で米国安全飲料水法に基づく第 1 種飲料水規則等の基準に遵守することが義務付けられています。また、横須賀基地は在日米軍に適用される日本環境基準 (JEGS) の水道に関する各規則にも遵守する義務があります。JEGS では日本で活動する米軍が自然環境や従業員の健康を守るため、水道水質・大気・廃棄物などさまざまな環境分野で遵守すべき基準を定めています。在日米海軍に適用される水道水の水質基準は、米国と日本両方の飲料水規則をもとに定められていて、定期的な水質検査をすることにより水道水の安全性を確認しています。

健康に関する重要なお知らせ

化学療法で治療中のがん患者、移植手術患者、エイズ患者、一部の高齢者や乳児など免疫力の低下している人は水道水中の混入物質に、より敏感に反応することがあり特に感染症を発症する可能性が他の人たちより高くなる場合があります。当てはまる方は基地の水道水の利用について医師などに相談することをお勧めします。米国環境庁と疾病対策センターはクリプトスポリジウムなどの微生物による感染症対策のガイドラインなどを提供するホットラインを設けています。電話：1-800-426-4791

混入する可能性がある物質

水道水やペットボトルなどの飲料水には水以外の不純物も含まれています。飲料水に一定の不純物が混入しているということは、必ずしも私達の健康を害するという事ではありません。混入物質やその健康への影響の詳細は、米国環境保護庁 (EPA) のホットライン 1-800-426-4791

や、EPAのウェブサイトで確認できます。

<https://www.epa.gov/dwstandardsregulations>

水源となる河川やダムの水は、地表を流れたり地下を通過する過程で放射性物質を含む様々な成分が自然に溶け込みます。また、動物や人間の活動に由来する不純物が混入することも考えられます。混入する不純物には次のような物質が考えられます；

- バクテリアなどの微生物やウイルス。汚水処理施設、浄化槽、家畜、野生生物などに起因。
- 塩や金属などの無機物。自然由来や都市の雨水、下水、石油精製や農業などに起因。
- 農薬。農業、都市の雨水や家庭での使用などに起因。
- 有機物。工場などで発生する揮発性有機物、石油精製、ガソリンスタンド、都市の下水などに起因。
- 放射性物質。自然に由来する場合や石油・ガス生産や鉱山などに起因。

その他の混入物質

鉛

蛇口や配管などの水道設備に含まれる微量の鉛成分が溶け出すことにより、水道水中の鉛濃度が上昇する場合があります。鉛濃度が高いと、特に妊婦や子供の健康に影響を与える可能性があります。水道水の品質を保つため、概ね6時間以上使用していない蛇口を使用する前に30秒から2分ほど水を流すことで、鉛の摂取量を減らすことができます。横須賀基地の水道水は年に1度ハウジングエリアなどで鉛のサンプリングをしています。EPAのウェブサイトでは水道水中の鉛について詳しく説明しています。

<https://www.epa.gov/your-drinking-water/basic-information-about-lead-drinking-water>

水質検査

横須賀基地では次の表に示された分析項目・頻度で、定期的な水質検査を米国環境保護庁と日本の分析方法に従って実施しています。

| 項目 | 検査頻度 |
|----------------------------------|-------|
| pH、伝導率、濁度、残留塩素、水温、水圧 | 毎時 |
| 消毒副生成物（トリハロメタン(TTHM)、ハロ酢酸(HAA5)） | 年1回 |
| 全大腸菌群 | 毎月 |
| 鉛、銅、無機化学物質、有機化学物質 | 年1回 |
| ポリ塩化ビフェニル、除草剤、農薬 | 3年に1回 |
| アスベスト | 9年に1回 |

2016年に行われた水質検査のうち、鶴見で検出された項目を、3ページの表に記載しました。混入物質の存在は、必ずしも私達の健康を害するという事ではありません。鶴見の水道水はJEGSやCNIC指令などで定められた水質基準に適合しており、安全に飲用することができます。

よくある質問と回答

水道水質白書が発行されるということは、水質に異常があるのですか？

海軍では日本を含む全ての基地で、供給された水道水質の概要を示した水道水質白書を毎年発行するように規定しています。水質白書には定期検査で検出された項目が記載されますが、混入物質の検出は自然由来など様々な要因があり、水質に異常があるということではありません。

水道水中の放射性物質は検査していますか？

横須賀基地では4年に一度定められた放射性物質の検査をメインベース及び池子住宅地区で行っています。FMC、箱崎、長井、根岸、鶴見、浦郷の各基地では放射性物質の検査は行われていませんが、水道水を供給している各水道局では毎月放射性物質の検査をしています。

鶴見 OU-1&2 - 2016年に水道水から検出された混入物質

| 水質基準項目 | 単位 | 検出値 | | 基準値 (MCL/ MRDL*) | 目標値 (MCLG/ MRDLG) | 検査合否 | 可能性のある混入源 |
|--------------------|------|--------|---------|------------------------|-------------------------|------|---------------------|
| | | 最小値 | 最大値 | | | | |
| 無機化学物質 | | | | | | | |
| バリウム | mg/L | - | 0.002 | 2.0 | 2.0 | 合格 | 掘削工事、製鉄所、自然由来 |
| フッ素 | mg/L | - | 0.075 | 4.0 | 4.0 | 合格 | 自然由来、水道添加物、肥料、アルミ工場 |
| 硝酸性窒素 | mg/L | - | 1.1 | 10 | 10 | 合格 | 肥料、浄化槽、下水、自然由来 |
| ナトリウム | mg/L | - | 7.4 | 200 | - | 合格 | 自然由来 |
| 全窒素 | mg/L | - | 1.1 | 10 | - | 合格 | 肥料、浄化槽、下水、自然由来 |
| 揮発性有機化合物 | | | | | | | |
| トルエン | mg/L | - | 0.00055 | 1.0 | 1.0 | 合格 | 石油関連工場 |
| 消毒剤及び消毒副生成物 | | | | | | | |
| 残留塩素 | mg/L | 0.3 | 0.6 | 4.0* | 4.0 | 合格 | 消毒剤 |
| ハロ酢酸5種 | mg/L | 0.0147 | 0.019 | 0.06 | - | 合格 | 水道水消毒の副生成物 |
| 総トリハロメタン | mg/L | 0.031 | 0.0336 | 0.08 | - | 合格 | 水道水消毒の副生成物 |

| 水質基準項目 | AL 超過数 | 90パーセンタイル値 | AL (mg/L) | 検査合否 | 可能性のある混入源 |
|--------|--------|------------|-----------|------|-------------|
| 銅 | 0 | 0.018 | 1.3 | 合格 | 屋内水道配管、自然由来 |
| 鉛 | 0 | 0.001 | 0.015 | 合格 | 屋内水道配管、自然由来 |

注記

*残留塩素にはMRDL（最大残留消毒剤濃度）を適用、その他はMCL（最大許容混入値）の基準値を適用します。

略語と意味：

AL： アクションレベル値。超過した場合、定められた追加処置をしなければならない濃度。

MCL： 最大許容混入値。飲料水として許容できる該当物質混入量の最大値。

MCLG： 最大許容混入目標値。水道水中の混入物による健康リスクがなくなるとされる目標値。

mg/L： 1リットル中に含まれる混入物質の量（ミリグラム）

MRDL： 最大残留消毒剤濃度。消費者の蛇口で測定される水処理のための消毒剤の濃度で、健康に悪影響を与える可能性がある濃度を超過してはならない。

MRDLG： 最大残留消毒剤濃度目標。定められた目標値を下回っていれば健康に影響がないとされる水道消毒剤の濃度。但し、消毒剤の効果を考慮した数字ではない。

ND： 不検出。

90パーセンタイル値：採取された水道サンプル全体の90%のサンプルが示す値。もし、90パーセンタイル値がAL値を超過した場合、横須賀基地は定められた適切な対応をとることが定められています。

問い合わせ先

基地水道品質管理委員会 (IWQB)：横須賀基地の全ての施設使用者に、信頼できる水道水を提供するために設立された横須賀基地司令官を委員長とする委員会。

司令官..... 243-7300

チーフ・スタッフ・オフィサー..... 243-7301

パブリック・ワークス・オフィサー..... 243-7311

海軍病院..... 243-2616

広報官..... 243-7589

パブリック・ワークス・プロダクション・オフィサー..... 243-9119

環境課ディレクター..... 243-6592

水道水質白書または横須賀基地水道水全般の質問については横須賀基地広報部までご連絡ください。

DSN: 243-7589 Email: Daniel.Taylor@fe.navy.mil



2016 年水道水質白書

浦郷倉庫地区

横須賀基地司令部



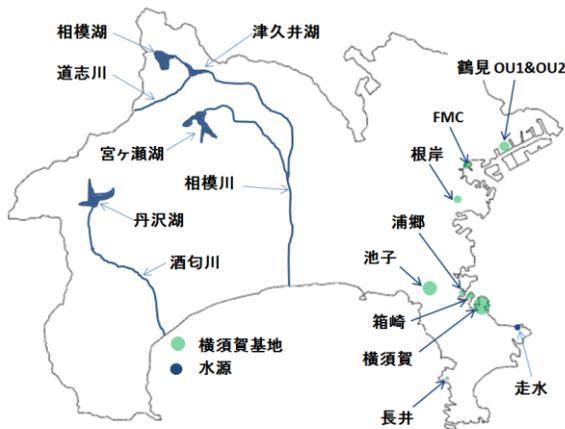
水道水質白書は海軍施設部隊司令部(CNIC)指針書 2013 年 10 月 15 日 N4/13U84441 の規定により毎年発行されるレポートです。このレポートには 2016 年の水質検査結果が反映されています。

水

水道水質白書は水道水の水源、浄水方法、可能性のある水道水汚染源、水質検査で検出された項目などを説明する毎年発行されるレポートです。このレポートでは 2016 年に浦郷で供給された水道水について定められた情報を提供しています。横須賀基地の水道水は安全に飲用できます。横須賀基地では常に安心して安全な水を供給することを目標としています。

水源

浦郷の水道水は横須賀市上下水道局から供給されています。相模川と酒匂川から取水された水は、アメリカでも一般的な急速ろ過方式により横須賀市上下水道局が浄水と塩素による消毒をしています。横須賀基地では、水道局により公表される水質データを定期的にチェックしています。



配水施設

水道局より送水された飲料水は、横須賀基地施設管理部が各施設へ配水しています。浦郷ではフッ素添加などの処理は行わず、購入した水を直接配水しています。

水道関連規則の遵守

海軍では海軍施設部隊司令部 (CNIC) 指令 5090.1 により、日本を含む全ての海外に駐留する海軍基地で米国安全飲料水法に基づく第 1 種飲料水規則等の基準に遵守することが義務付けられています。また、横須賀基地は在日米軍に適用される日本環境基準 (JEGS) の水道に関する各規則にも遵守する義務があります。JEGS では日本で活動する米軍が自然環境や従業員の健康を守るため、水道水質・大気・廃棄物などさまざまな環境分野で遵守すべき基準を定めています。在日米海軍に適用される水道水の水質基準は、米国と日本両方の飲料水規則をもとに定められていて、定期的な水質検査をすることにより水道水の安全性を確認しています。

健康に関する重要なお知らせ

化学療法で治療中のがん患者、移植手術患者、エイズ患者、一部の高齢者や乳児など免疫力の低下している人は水道水中の混入物質に、より敏感に反応することがあり特に感染症を発症する可能性が他の人たちより高くなる場合があります。当てはまる方は基地の水道水の利用について医師などに相談することをお勧めします。米国環境庁と疾病対策センターはクリプトスポリジウムなどの微生物による感染症対策のガイドラインなどを提供するホットラインを設けています。電話：1-800-426-4791

混入する可能性がある物質

水道水やペットボトルなどの飲料水には水以外の不純物も含まれています。飲料水に一定の不純物が混入しているということは、必ずしも私達の健康を害するという事ではありません。混入物質やその健康への影響の詳細は、米国環境保護庁 (EPA) のホットライン 1-800-426-4791 や、EPA のウェブサイトで確認できます。

<https://www.epa.gov/dwstandardsregulations>

水源となる河川やダムの水は、地表を流れたり地下を通過する過程で放射性物質を含む様々な成分が自然に溶け込みます。また、動物や人間の活動に由来する不純物が混入することも考えられます。混入する不純物には次のような物質が考えられます；

- バクテリアなどの微生物やウイルス。汚水処理施設、浄化槽、家畜、野生生物などに起因。
- 塩や金属などの無機物。自然由来や都市の雨水、下水、石油精製や農業などに起因。
- 農薬。農業、都市の雨水や家庭での使用などに起因。
- 有機物。工場などで発生する揮発性有機物、石油精製、ガソリンスタンド、都市の下水などに起因。
- 放射性物質。自然に由来する場合や石油・ガス生産や鉱山などに起因。

その他の混入物質

鉛

蛇口や配管などの水道設備に含まれる微量の鉛成分が溶け出すことにより、水道水中の鉛濃度が上昇する場合があります。鉛濃度が高いと、特に妊婦や子供の健康に影響を与える可能性があります。水道水の品質を保つため、概ね6時間以上使用していない蛇口を使用する前に30秒から2分ほど水を流すことで、鉛の摂取量を減らすことができます。横須賀基地の水道水は年に1度ハウジングエリアなどで鉛のサンプリングをしています。EPAのウェブサイトでは水道水中の鉛について詳しく説明しています。

<https://www.epa.gov/your-drinking-water/basic-information-about-lead-drinking-water>

水質検査

横須賀基地では次の表に示された分析項目・頻度で、定期的な水質検査を米国環境保護庁と日本の分析方法に従って実施しています。

| 項目 | 検査頻度 |
|----------------------------------|-------|
| 消毒副生成物（トリハロメタン(TTHM)、ハロ酢酸(HAA5)) | 年1回 |
| 全大腸菌群 | 毎月 |
| 鉛、銅、無機化学物質、有機化学物質 | 年1回 |
| ポリ塩化ビフェニル、除草剤、農薬 | 3年に1回 |
| アスベスト | 9年に1回 |

2016年に行われた水質検査のうち、浦郷で検出された項目を、3ページの表に記載しました。混入物質の存在は、必ずしも私達の健康を害するという事ではありません。浦郷の水道水はJEGSやCNIC指令などで定められた水質基準に適合しており、安全に飲用することができます。

よくある質問と回答

水道水質白書が発行されるということは、水質に異常があるのですか？

海軍では日本を含む全ての基地で、供給された水道水質の概要を示した水道水質白書を毎年発行するように規定しています。水質白書には定期検査で検出された項目が記載されますが、混入物質の検出は自然由来など様々な要因があり、水質に異常があるということではありません。

水道水中の放射性物質は検査していますか？

横須賀基地では4年に一度定められた放射性物質の検査をメインベース及び池子住宅地区で行っています。FMC、箱崎、長井、根岸、鶴見、浦郷の各基地では放射性物質の検査は行われていませんが、水道水を供給している各水道局では毎月放射性物質の検査をしています。

浦郷 - 2016 年に水道水から検出された混入物質

| 水質基準項目 | 単位 | 検出値 | | 基準値 (MCL/ MRDL*) | 目標値 (MCLG/ MRDLG) | 検査合否 | 可能性のある混入源 |
|--------------------|------|--------|--------|------------------------|-------------------------|------|---------------------|
| | | 最小値 | 最大値 | | | | |
| 無機化学物質 | | | | | | | |
| バリウム | mg/L | - | 0.003 | 2.0 | 2.0 | 合格 | 掘削工事、製鉄所、自然由来 |
| フッ素 | mg/L | - | 0.074 | 4.0 | 4.0 | 合格 | 自然由来、水道添加物、肥料、アルミ工場 |
| 硝酸性窒素 | mg/L | - | 1.0 | 10 | 10 | 合格 | 肥料、浄化槽、下水、自然由来 |
| ナトリウム | mg/L | - | 7.9 | 200 | - | 合格 | 自然由来 |
| 全窒素 | mg/L | - | 1.0 | 10 | - | 合格 | 肥料、浄化槽、下水、自然由来 |
| 消毒剤及び消毒副生成物 | | | | | | | |
| 残留塩素 | mg/L | 0.5 | 0.6 | 4.0* | 4.0 | 合格 | 消毒剤 |
| ハロ酢酸 5 種 | mg/L | 0.0198 | 0.038 | 0.06 | - | 合格 | 水道水消毒の副生成物 |
| 総トリハロメタン | mg/L | 0.023 | 0.0314 | 0.08 | - | 合格 | 水道水消毒の副生成物 |

| 水質基準項目 | AL 超過数 | 90 パーセンタイル値 | AL (mg/L) | 検査合否 | 可能性のある混入源 |
|--------|--------|-------------|-----------|------|-------------|
| 銅 | 0 | 0.035 | 1.3 | 合格 | 屋内水道配管、自然由来 |
| 鉛 | 0 | 0.002 | 0.015 | 合格 | 屋内水道配管、自然由来 |

注記

*残留塩素には MRDL (最大残留消毒剤濃度) を適用、その他は MCL (最大許容混入値) の基準値を適用します。

略語と意味:

AL: アクションレベル値。超過した場合、定められた追加処置をしなければならない濃度。

MCL: 最大許容混入値。飲料水として許容できる該当物質混入量の最大値。

MCLG: 最大許容混入目標値。水道水中の混入物による健康リスクがなくなるとされる目標値。

mg/L: 1 リットル中に含まれる混入物質の量 (ミリグラム)

MRDL: 最大残留消毒剤濃度。消費者の蛇口で測定される水処理のための消毒剤の濃度で、健康に悪影響を与える可能性がある濃度を超過してはならない。

MRDLG: 最大残留消毒剤濃度目標。定められた目標値を下回っていれば健康に影響がないとされる水道消毒剤の濃度。但し、消毒剤の効果を考慮した数字ではない。

ND: 不検出。

90 パーセンタイル値: 採取された水道サンプル全体の 90% のサンプルが示す値。もし、90 パーセンタイル値が AL 値を超過した場合、横須賀基地は定められた適切な対応をとることが定められています。

問い合わせ先

基地水道品質管理委員会 (IWQB): 横須賀基地の全ての施設使用者に、信頼できる水道水を提供するために設立された横須賀基地司令官を委員長とする委員会。

| | |
|--------------------------|----------|
| 司令官 | 243-7300 |
| チーフ・スタッフ・オフィサー | 243-7301 |
| パブリック・ワークス・オフィサー | 243-7311 |
| 海軍病院 | 243-2616 |
| 広報官 | 243-7589 |
| パブリック・ワークス・プロダクション・オフィサー | 243-9119 |
| 環境課ディレクター | 243-6592 |

水道水質白書または横須賀基地水道水全般の質問については横須賀基地広報部までご連絡ください。

DSN: 243-7589 Email: Daniel.Taylor@fe.navy.mil

水源となる河川やダムの水は、地表を流れたり地下を通過する過程で放射性物質を含む様々な成分が自然に溶け込みます。また、動物や人間の活動に由来する不純物が混入することも考えられます。混入する不純物には次のような物質が考えられます；

- バクテリアなどの微生物やウイルス。汚水処理施設、浄化槽、家畜、野生生物などに起因。
- 塩や金属などの無機物。自然由来や都市の雨水、下水、石油精製や農業などに起因。
- 農薬。農業、都市の雨水や家庭での使用などに起因。
- 有機物。工場などで発生する揮発性有機物、石油精製、ガソリンスタンド、都市の下水などに起因。
- 放射性物質。自然に由来する場合や石油・ガス生産や鉱山などに起因。

その他の混入物質

鉛

蛇口や配管などの水道設備に含まれる微量の鉛成分が溶け出すことにより、水道水中の鉛濃度が上昇する場合があります。鉛濃度が高いと、特に妊婦や子供の健康に影響を与える可能性があります。水道水の品質を保つため、概ね6時間以上使用していない蛇口を使用する前に30秒から2分ほど水を流すことで、鉛の摂取量を減らすことができます。横須賀基地の水道水は年に1度ハウジングエリアなどで鉛のサンプリングをしています。EPAのウェブサイトでは水道水中の鉛について詳しく説明しています。

<https://www.epa.gov/your-drinking-water/basic-information-about-lead-drinking-water>

水質検査

横須賀基地では次の表に示された分析項目・頻度で、定期的な水質検査を米国環境保護庁と日本の分析方法に従って実施しています。

| 項目 | 検査頻度 |
|----------------------------------|-------|
| 消毒副生成物（トリハロメタン(TTHM)、ハロ酢酸(HAA5)) | 年1回 |
| 全大腸菌群 | 毎月 |
| 鉛、銅、無機化学物質 | 年1回 |
| ポリ塩化ビフェニル、除草剤、農薬、有機化学物質 | 年4回 |
| アスベスト | 9年に1回 |

2016年に行われた水質検査のうち、長井で検出された項目を、3ページの表に記載しました。

混入物質の存在は、必ずしも私達の健康を害するという事ではありません。長井の水道水はJEGSやCNIC指令などで定められた水質基準に適合しており、安全に飲用することができます。

よくある質問と回答

水道水質白書が発行されるということは、水質に異常があるのですか？

海軍では日本を含む全ての基地で、供給された水道水質の概要を示した水道水質白書を毎年発行するように規定しています。水質白書には定期検査で検出された項目が記載されますが、混入物質の検出は自然由来など様々な要因があり、水質に異常があるということではありません。

水道水中の放射性物質は検査していますか？

横須賀基地では4年に一度定められた放射性物質の検査をメインベース及び池子住宅地区で行っています。FMC、箱崎、長井、根岸、鶴見、浦郷の各基地では放射性物質の検査は行われていませんが、水道水を供給している各水道局では毎月放射性物質の検査をしています。

長井 - 2016年に水道水から検出された混入物質

| 水質基準項目 | 単位 | 検出値 | | 基準値 (MCL/ MRDL*) | 目標値 (MCLG/ MRDLG) | 検査合否 | 可能性のある混入源 |
|--------------------|------|-----|--------|------------------------|-------------------------|------|---------------------|
| | | 最小値 | 最大値 | | | | |
| 無機化学物質 | | | | | | | |
| バリウム | mg/L | - | 0.0034 | 2.0 | 2.0 | 合格 | 掘削工事、製鉄所、自然由来 |
| フッ素 | mg/L | - | 0.081 | 4.0 | 4.0 | 合格 | 自然由来、水道添加物、肥料、アルミ工場 |
| 硝酸性窒素 | mg/L | - | 0.7 | 10 | 10 | 合格 | 肥料、浄化槽、下水、自然由来 |
| ナトリウム | mg/L | - | 8.7 | 200 | - | 合格 | 自然由来 |
| 全窒素 | mg/L | - | 0.7 | 10 | - | 合格 | 肥料、浄化槽、下水、自然由来 |
| 消毒剤及び消毒副生成物 | | | | | | | |
| 残留塩素 | mg/L | 0.2 | 0.58 | 4.0* | 4.0 | 合格 | 消毒剤 |
| ハロ酢酸5種 | mg/L | - | 0.013 | 0.06 | | 合格 | 水道水消毒の副生成物 |
| 総トリハロメタン | mg/L | - | 0.026 | 0.08 | | 合格 | 水道水消毒の副生成物 |

| 水質基準項目 | AL 超過数 | 90 パーセンタイル値 | AL (mg/L) | 検査合否 | 可能性のある混入源 |
|--------|--------|-------------|-----------|------|-------------|
| 銅 | 0 | 0.033 | 1.3 | 合格 | 屋内水道配管、自然由来 |
| 鉛 | 0 | 0.004 | 0.015 | 合格 | 屋内水道配管、自然由来 |

注記

*残留塩素には MRDL (最大残留消毒剤濃度) を適用、その他は MCL (最大許容混入値) の基準値を適用します。

略語と意味:

AL: アクションレベル値。超過した場合、定められた追加処置をしなければならない濃度。

MCL: 最大許容混入値。飲料水として許容できる該当物質混入量の最大値。

MCLG: 最大許容混入目標値。水道水中の混入物による健康リスクがなくなるとされる目標値。

mg/L: 1 リットル中に含まれる混入物質の量 (ミリグラム)

MRDL: 最大残留消毒剤濃度。消費者の蛇口で測定される水処理のための消毒剤の濃度で、健康に悪影響を与える可能性がある濃度を超過してはならない。

MRDLG: 最大残留消毒剤濃度目標。定められた目標値を下回っていれば健康に影響がないとされる水道消毒剤の濃度。但し、消毒剤の効果を考慮した数字ではない。

ND: 不検出。

90 パーセンタイル値: 採取された水道サンプル全体の90%のサンプルが示す値。もし、90パーセンタイル値がAL値を超過した場合、横須賀基地は定められた適切な対応をとることが定められています。

問い合わせ先

基地水道品質管理委員会 (IWQB): 横須賀基地の全ての施設使用者に、信頼できる水道水を提供するために設立された横須賀基地司令官を委員長とする委員会。

| | |
|--------------------------|----------|
| 司令官 | 243-7300 |
| チーフ・スタッフ・オフィサー | 243-7301 |
| パブリック・ワークス・オフィサー | 243-7311 |
| 海軍病院 | 243-2616 |
| 広報官 | 243-7589 |
| パブリック・ワークス・プロダクション・オフィサー | 243-9119 |
| 環境課ディレクター | 243-6592 |

水道水質白書または横須賀基地水道水全般の質問については横須賀基地広報部までご連絡ください。

DSN: 243-7589 Email: Daniel.Taylor@fe.navy.mil



2016 年水道水質白書

FMC 海軍郵便局

横須賀基地司令部



水道水質白書は海軍施設部隊司令部(CNIC)指針書 2013 年 10 月 15 日 N4/13U84441 の規定により毎年発行されるレポートです。このレポートには 2016 年の水質検査結果が反映されています。

水

水道水質白書は水道水の水源、浄水方法、可能性のある水道水汚染源、水質検査で検出された項目などを説明する毎年発行されるレポートです。このレポートでは 2016 年に FMC 海軍郵便局で供給された水道水について定められた情報を提供しています。横須賀基地の水道水は安全に飲用できます。横須賀基地では常に安心して安全な水を供給することを目標としています。

水源

FMC の水道水は横浜市水道局から供給されています。相模湖、道志川から取水された水は、アメリカでも一般的な急速ろ過方式により横浜市水道局が浄水と塩素による消毒をしています。横須賀基地では、水道局により公表される水質データを定期的にチェックしています。



配水施設

水道局より送水された水道水は、横須賀基地施設管理部が各施設で配水しています。FMC ではフッ素添加などの処理は行わず、購入した水をそのまま配水しています。

水道関連規則の遵守

海軍では海軍施設部隊司令部 (CNIC) 指令 5090.1 により、日本を含む全ての海外に駐留する海軍基地で米国安全飲料水法に基づく第 1 種飲料水規則等の基準に遵守することが義務付けられています。また、横須賀基地は在日米軍に適用される日本環境基準 (JEGS) の水道に関する各規則にも遵守する義務があります。JEGS では日本で活動する米軍が自然環境や従業員の健康を守るため、水道水質・大気・廃棄物などさまざまな環境分野で遵守すべき基準を定めています。在日米海軍に適用される水道水の水質基準は、米国と日本両方の飲料水規則をもとに定められていて、定期的な水質検査をすることにより水道水の安全性を確認しています。

健康に関する重要なお知らせ

化学療法で治療中のがん患者、移植手術患者、エイズ患者、一部の高齢者や乳児など免疫力の低下している人は水道水中の混入物質に、より敏感に反応することがあり特に感染症を発症する可能性が他の人たちより高くなる場合があります。当てはまる方は基地の水道水の利用について医師などに相談することをお勧めします。米国環境庁と疾病対策センターはクリプトスポリジウムなどの微生物による感染症対策のガイドラインなどを提供するホットラインを設けています。電話：1-800-426-4791

混入する可能性がある物質

水道水やペットボトルなどの飲料水には水以外の不純物も含まれています。飲料水に一定の不純物が混入しているということは、必ずしも私達の健康を害するという事ではありません。混入物質やその健康への影響の詳細は、米国環境保護庁 (EPA) のホットライン 1-800-426-4791 や、EPA のウェブサイトで確認できます。

<https://www.epa.gov/dwstandardsregulations>

水源となる河川やダムの水は、地表を流れたり地下を通過する過程で放射性物質を含む様々な成分が自然に溶け込みます。また、動物や人間の活動に由来する不純物が混入することも考えられます。混入する不純物には次のような物質が考えられます；

- バクテリアなどの微生物やウイルス。汚水処理施設、浄化槽、家畜、野生生物などに起因。
- 塩や金属などの無機物。自然由来や都市の雨水、下水、石油精製や農業などに起因。
- 農薬。農業、都市の雨水や家庭での使用などに起因。
- 有機物。工場などで発生する揮発性有機物、石油精製、ガソリンスタンド、都市の下水などに起因。
- 放射性物質。自然に由来する場合や石油・ガス生産や鉱山などに起因。

その他の混入物質

鉛

蛇口や配管などの水道設備に含まれる微量の鉛成分が溶け出すことにより、水道水中の鉛濃度が上昇する場合があります。鉛濃度が高いと、特に妊婦や子供の健康に影響を与える可能性があります。水道水の品質を保つため、概ね6時間以上使用していない蛇口を使用する前に30秒から2分ほど水を流すことで、鉛の摂取量を減らすことができます。横須賀基地の水道水は年に1度ハウジングエリアなどで鉛のサンプリングをしています。EPAのウェブサイトでは水道水中の鉛について詳しく説明しています。

<https://www.epa.gov/your-drinking-water/basic-information-about-lead-drinking-water>

水質検査

横須賀基地では次の表に示された分析項目・頻度で、定期的な水質検査を米国環境保護庁と日本の分析方法に従って実施しています。

| 項目 | 検査頻度 |
|----------------------------------|-------|
| pH、伝導率、濁度、残留塩素、水温、水圧 | 毎時 |
| 消毒副生成物（トリハロメタン(TTHM)、ハロ酢酸(HAA5)） | 年1回 |
| 全大腸菌群 | 毎月 |
| 鉛、銅、無機化学物質、有機化学物質 | 年1回 |
| ポリ塩化ビフェニル、除草剤、農薬 | 3年に1回 |
| アスベスト | 9年に1回 |

2016年に行われた水質検査のうち、FMC海軍郵便局で検出された項目を、3ページの表に記載しました。混入物質の存在は、必ずしも私達の健康を害するという事ではありません。FMC海軍郵便局の水道水はJEGSやCNIC指令などで定められた水質基準に適合しており、安全に飲用することができます。

よくある質問と回答

水道水質白書が発行されるということは、水質に異常があるのですか？

海軍では日本を含む全ての基地で、供給された水道水質の概要を示した水道水質白書を毎年発行するように規定しています。水質白書には定期検査で検出された項目が記載されますが、混入物質の検出は自然由来など様々な要因があり、水質に異常があるということではありません。

水道水中の放射性物質は検査していますか？

横須賀基地では4年に一度定められた放射性物質の検査をメインベース及び池子住宅地区で行っています。FMC、箱崎、長井、根岸、鶴見、浦郷の各基地では放射性物質の検査は行われていませんが、水道水を供給している各水道局では毎月放射性物質の検査をしています。

FMC 海軍郵便局 - 2016年に水道水から検出された混入物質

| 水質基準項目 | 単位 | 検出値 | | 基準値 (MCL/ MRDL*) | 目標値 (MCLG/MR DLG) | 検査合否 | 可能性のある混入 源 |
|--------------------|---------------|-------------------|---------|------------------------|-------------------------|------------------|-----------------------------|
| | | 最小値 | 最大値 | | | | |
| 無機化学物質 | | | | | | | |
| バリウム | mg/L | - | 0.0025 | 2.0 | 2.0 | 合格 | 掘削工事、製鉄所、 自然由来 |
| フッ素 | mg/L | - | 0.083 | 4.0 | 4.0 | 合格 | 自然由来、水道添加 物、肥料、アルミ工 場 |
| 硝酸性窒素 | mg/L | - | 1.2 | 10 | 10 | 合格 | 肥料、浄化槽、下 水、自然由来 |
| ナトリウム | mg/L | - | 6.7 | 200 | - | 合格 | 自然由来 |
| 全窒素 | mg/L | - | 1.2 | 10 | - | 合格 | 肥料、浄化槽、下 水、自然由来 |
| 有機化学物質 | | | | | | | |
| トルエン | mg/L | - | 0.00076 | 1.0 | 1.0 | 合格 | 石油関連工場 |
| 消毒剤及び消毒副生成物 | | | | | | | |
| 残留塩素 | mg/L | 0.5 | 0.6 | 4.0 | 4.0 | 合格 | 消毒剤 |
| ハロ酢酸5種 | mg/L | 0.0036 | 0.017 | 0.06 | - | 合格 | 水道水消毒の副生成 物 |
| 総トリハロメタン | mg/L | 0.0182 | 0.02 | 0.08 | - | 合格 | 水道水消毒の副生成 物 |
| 水質基準項目 | AL 超過数 | 90パーセンタイル値 | | AL (mg/L) | 検査合否 | 可能性のある混入源 | |
| 銅 | 0 | 0.04 | | 1.3 | 合格 | 屋内水道配管、自然由来 | |
| 鉛 | 0 | 0.002 | | 0.015 | 合格 | 屋内水道配管、自然由来 | |

注記

*残留塩素にはMRDL（最大残留消毒剤濃度）を適用、その他はMCL（最大許容混入値）の基準値を適用します。

略語と意味：

AL： アクションレベル値。超過した場合、定められた追加処置をしなければならない濃度。

MCL： 最大許容混入値。飲料水として許容できる該当物質混入量の最大値。

MCLG： 最大許容混入目標値。水道水中の混入物による健康リスクがなくなるとされる目標値。

mg/L： 1リットル中に含まれる混入物質の量（ミリグラム）

MRDL： 最大残留消毒剤濃度。消費者の蛇口で測定される水処理のための消毒剤の濃度で、健康に悪影響を与える可能性がある濃度を超過してはならない。

MRDLG： 最大残留消毒剤濃度目標。定められた目標値を下回っていれば健康に影響がないとされる水道消毒剤の濃度。但し、消毒剤の効果を考慮した数字ではない。

ND： 不検出。

90パーセンタイル値：採取された水道サンプル全体の90%のサンプルが示す値。もし、90パーセンタイル値がAL値を超過した場合、横須賀基地は定められた適切な対応をとることが定められています。

問い合わせ先

基地水道品質管理委員会 (IWQB)：横須賀基地の全ての施設使用者に、信頼できる水道水を提供するために設立された横須賀基地司令官を委員長とする委員会。

司令官..... 243-7300

チーフ・スタッフ・オフィサー..... 243-7301

パブリック・ワークス・オフィサー..... 243-7311

海軍病院..... 243-2616

広報官..... 243-7589

パブリック・ワークス・プロダクション・オフィサー..... 243-9119

環境課ディレクター..... 243-6592

水道水質白書または横須賀基地水道水全般の質問については横須賀基地広報部までご連絡ください。

DSN: 243-7589 Email: Daniel.Taylor@fe.navy.mil